11月25日は金型の日

「金型の日」を迎えるにあたって

地球が市場、英知を集結

日本金型工業会会長　上田　勝弘

日本金型工業会は今回で第38回「金型の日」を名古屋にて迎えることができました。これもひとえに会員企業、関連業界の皆さまのご支援とご協力の賜（たまもの）であると深謝申し上げます。

2011年は予期せぬ東日本大震災の発生から、台風15号、タイの大洪水、トルコ大地震と地球の大変動に直面致しました。その上、史上最高値の円の上昇などが重なって、日本国民はもとよりわれわれ製造業においても今まで無かった最大の試練と困難を強いられる年になってしまいました。一言でいえば、11年は国難の一年であったと言えるでしょう。

円高に伴う製造業の海外移転はやむを得ない一面はあるにしても、このまま無為無策のままで国力を衰退してはならないと思います。まだ日本の製造業は完敗したわけではありませんから、強い政治のリーダーシップで、困難に立ち向かう実効のある政策を強力に推進してもらいたいのは国民の願いでもあるはずです。

われわれ金型産業は生き延びるため、地球が市場であるという考え方で日本の底力を結集して、ビジネスチャンスの拡大を目指すべきであると思います。差別化技術や特殊技術に英知を集結して世界の潮流にどううまく対応していくかを業界の皆さまとも考えて実行しましょう。

今こそ日本金型工業会はその媒介的な使命を果たすべき政官民と一体になって頑張って行く所存であります。会員企業、関連業界の皆さまのさらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

金型の普及、一層の発展を目指して

人材育成・交流に力

日本金型工業会は1957年11月25日に設立されて以来、モノづくりを支える金型の普及、技術の機械化に取り組むことによって、金型産業の一層の発展と、日本経済を支える役割を担っている。経済は依然厳しい状況が続いているものの、今後、高精度な金型を短期間かつ低コストで開発できるよう、人材育成や国際金型協会（ISTMA）やアジア金型工業会協議会（FADMA）など海外との交流を定期的に行っている。こうした同工業会の活動に対し、金型ユーザーだけでなく、他の団体・業界も大きな関心を持っている。

学生対象に「グランプリ」開催

日本金型工業会は「創造性の発揮」をテーマに掲げ、金型の普及に取り組むほか、取引条件の公正化や規格の標準化、金型加工技術展（INTERMOLD）の開催、アジア国際交流の実施、金型経営大学の開講などの活動を主な事業としている。同時に、関連団体と協議し、技術研修や情報交換なども積極的に行っている。

こうした中、9月29日（木）から10月2日（日）まで名古屋のポートメッセなごやで開かれた「メカトロテック ジャパン（MECT）2011」会場内で「第3回学生金型グランプリ」を開催した。通常同工業会主催の「INTERMOLD」の会期中に行うグランプリだったが、3月の東日本大震災の影響で展示会自体が開催を中止、急きょMECT2011へ会場を移した格好になった。

日本からは岩手大学、岐阜大学、九州工業大学、職業能力開発総合大学校東京校、大分県立工科短期大学の5校、中国からは大連工業大学、大連大学、大連市軽工業学校の3校、計8校から若き金型技術者がその技術を競った。課題はプレス用金型部門「コーヒースプーン」、プラスチック用金型部門「SDカードケース」。すでに課題が決まっているため、簡単に製作できるのかと思いきや、設計図作製から金型製作工程など、いかに失敗なく低コストで製品を仕上げていくのか、完成品が生み出されるまでのプロセスは実にさまざまだ。会期中、各大学によるプレゼンテーションが行われ、プロセスの中で特に注力した点などを発表した。

3回目となる金型グランプリ。会場で発表の場を設けるのには、会場にいる「金型のプロ」たちに作品を見てもらいたいという思いからだ。12年はまた「INTERMOLD」内でグランプリを開催予定。次世代の人材育成、アジア地域における業界の活性化を目指す同工業会の思いを熱く感じる場となるだろう。

INTERMOLDからMECTに会場を移して行われた「学生金型グランプリ」

グローバルな視点でビジネス拡大・情報交換

がんばろう日本のものづくり

INTERMOLD 2012　来春 大阪で開催

2010年のINTERMOLD会場

日本金型工業会では金型産業の一層の発展と情報交換の場として、毎年「INTERMOLD」「金型展」を開催している。会場を隔年交替で東京・有明の東京ビッグサイトと、大阪市住之江区のインテックス大阪に移している。2010年は大阪開催。今年は3月に発生した東日本大震災の影響により中止になり、現在12年開催（大阪会場）に向けて準備中だ。「がんばろう日本のものづくり」を旗印に、世界最高水準の技術をもつ日本の金型業界へ、グローバルな視点でのビジネスマッチングと情報交換の場を提供する。

アジア・欧と連携深める

「INTERMOLD」「金型展」には工作機械・機器メーカーをはじめ、切削工具や研磨材、精密測定器、プレス機械、プラスチック加工機械、機械系・金型用CAD／CAM／CAEシステム、表面処理技術や金型プレス加工事業者などが出展する。前回の10年大阪会場では294社・団体、675小間が出展、来場者は4万人を超えた。海外からの来場者も多く、韓国を筆頭に、中国や台湾、タイ、ドイツなどから来日。海外からの注目の高さがうかがえる。

12年は海外来場者の増加を図り、アジア・欧州の各工業会と連携を深めていく。

また、前回に引き続き「部品加工技術フェア」を開催する。部品加工業者に対して、自動車部品・航空機部品関連業界を中心としたプレゼンテーションを行う。事業展開のヒントを得る格好の機会となっている。

同展示会の会期は12年4月18日（水）から21日（土）。開場時間は10時から17時まで。展示会運営はインターモールド振興会。入場料は1000円（招待券持参および事前来場登録者は無料）。併催展は「金属プレス加工技術展2012」。

12年2月中旬には出展者説明会を大阪で予定している。現在出展者を募集中だ。問い合わせはインターモールド振興会（06・6944・9911）へ。

株式会社 森精機製作所
■名古屋本社　名古屋市中村区名駅2丁目35-16（〒450-0002）TEL.(052) 587-1811　FAX.(052) 587-1818
■東京支社　東京都港区港南2丁目15-1 品川インターシティA棟18階（〒108-6018）TEL.(03) 5460-3570　FAX.(03) 5460-9610
■奈良事業所　TEL.(0743) 53-1121
■伊賀事業所　TEL.(0595) 45-4151
■千葉事業所　TEL.(047) 410-8800

株式会社 森精機セールスアンドサービス
名古屋市中村区名駅2丁目35-16（〒450-0002）
TEL.(052) 587-1862　FAX.(052) 587-1864

サービスセンタ
フリーコール 0120-124-280
フリーコール 0077-78-0222
24時間 365日 通話無料